

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
U R L http://www.jaichi.jp TEL 052 916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX 052 916-2308

2010.11.10
No.1015

発行責任者 伊藤 慎次 定価 10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

第27回トヨタシンポジウム

大企業トヨタに今こそ求める
労働者・下請を大切に経営を
11月28日(日)11:00~
豊田市福祉センター



「賃金引き下げ反対、雇用の確保、働くルールの確立、憲法を職場と暮らしに生かす」をスローガンに、愛労連、愛知公務共闘、自治労連が主催する全県労働者決起集会が10月22日、名古屋市中区・若宮広場で開かれ、600人が参加しました。自治労連の伊藤書記長は「民主党政権がすすめる地域主権改革は、国民の最低生活水準を守る国の責任を放棄するものだ。これを許さず、地方自治擁護、住民生活擁護の対話と共同を広げよう」と訴え、沖縄県知事選挙勝利と、不当な賃金削減を許さないたたかいに全力を上げよう、と呼びかけました。集会後、栄交差点までデモ行進。「貧困と格差をなくそう」とアピールしました。

10秋季
年末闘争

2年連続マイナス入勧・不当な年齢差別許すな

2年連続のマイナス勧告・不当な年齢差別許すなど、賃金闘争最終盤に向けて各単組の力強いたたかいが広がっています。

管内閣は11月1日、2010年度の国家公務員の給与改定について、10人事院勧告通りの実施を閣議決定しました。

名古屋は給与表の市側当初提案を大きく押し返して削減案を圧縮させ、6月の一時金で削減されたカット分について12月の一時金で戻させる回答を引き出し、4月からの遡及(年間調整)の実施を断念させました。



蒲郡市職

1・5%引き下げは論外です。現業賃金も総務省「研究会」報告をもとにした賃金改善がすすめられようとしています。年齢や経験年数も分らない民間賃金を基にした改善は生計費原則にも、経験を加味した賃金体系も無視したもので許されません。また、無原則な競争入札で委託費が切り下げられ委託労働者にしわ寄せがきています。

豊橋は一般職や技能労務職の昇格基準の見直しや、来年度の現業職の採用を約束させています。

しかし、給与改善については、名古屋を除き、どこも「国に準じて対応」他市の動向も同様引き下げ」という回答をしています。

また、愛知県や名古屋市を含む全国の人事委員会勧告では半数以上が55歳超の賃金カットに言及しませんでした。従来から平均賃金が低い市町村で国並みの

引きつづき組合員の総力を結集した運動をすすめ、使用者責任を追及し当局を追い詰めることが大切です。



当局にせまる豊橋市職労

名古屋市の除く2009年度の県内市町村のラスパ

また、愛知県や名古屋市を含む全国の人事委員会勧告では半数以上が55歳超の賃金カットに言及しませんでした。従来から平均賃金が低い市町村で国並みの

引きつづき組合員の総力を結集した運動をすすめ、使用者責任を追及し当局を追い詰めることが大切です。

住民との対話・共同を広げよう

減税よりも仕事増やして

名古屋中小企業アンケート



名古屋ブロックは、名古屋の地域経済を支える中小企業の元気をとり戻そうと、「名古屋中小企業(製造業)実態調査アンケート」をすすめています。

市民団体を含め全体で75人が参加。342社を訪問し、137通を回収しました。訪問・回収では、「少し前までは製作加工ができたが、今はできない町工場が

11月11日には、地域総行動とあわせ、全区で訪問・回収をすることにしています。

しい「今は後継者が一番の問題」「減税よりも仕事を増やしてほしいね。仕事量も物件量も少なくなっている。国外への輸出はよかつたみたいだけど、国内は全然ダメ」など不況にあえぐ中小企業の実態が浮き彫りになっていきます。

「言いたい劇場」

小菅りや子



比べてみれば...
やっぱり安い
自治労連共済の



自動車共済



左・幸田町職労 / 右・蒲郡市職

非正規労働者自ら声をあげ処遇改善へ 「誇りと怒りの大運動」すすむ

組合が力になってくれた

県本部では、「非正規労働者の雇用の安定と均等待遇を実現する『誇りと怒りの大運動』と結合した、1万人の非正規労働者の組織化にむけ、5千人の対話学習と1000人の組合加入をめざしています。この運動を成功させるために、各単組で懇談会や県本部・関連協会のオルグなど、とりくまれています。

岩倉市職は10月16日、パート部会が主体に企画し、

県政の転換めろし

革新県政の会学習・交流集会

10月28日、「革新県政の会」は、県政転換をめざし、2月の県知事選挙のとりくみをスタートさせる学習・交流集会を名古屋・労働会館で開催し、31団体7地域80人が参加しました。

革新県政の会の樽松佐一代表が、「この1年間だけで、県内製造業の1割が廃業、雇用が6万人以上失われたが、県政はこれに無策でトヨタの応援ばかり」と指摘。知事選にむけて、県政の実態を学習し、県民に広く知らせ、「緊急経済雇用対策、国保料引き下げと公的病院廃止反対、待機児童の解消など子育て支援」などの県民運動をすすめることと提起しました。

会場から「地域の身近な要求実現運動の中で知事選をたたかう」「市民と業者の声を政策に生かしたい」などの発言がありました。

「パート職員勉強会&交流会」を開催。事務職・保育士など仲間が24人集まり、大いに学び、交流しました。「雇い止めの話が出たとき、組合が力になってくれて、ほとんどのパート職員が残れた」という思いが強い。「何もできないけど、組合に加入して要求への意識が高いことをアピールしようと思った」など、交流会後、加入した2人が正直な思いや期待を語ってくれました。

県本部・関連協会の役員によるオルグが、10月22日、名古屋市中区で開かれた。古屋市職労保育臨職部会、11月1日、蒲郡市職非常勤職員、11月5日、幸田町職労でとりくまれました。

その中で、蒲郡市職では、9人の非正規組合員の方と懇談。「5年有期で雇用不安がある。再試験を受けるが更新の保障はないし、経験加算もない」「窓口対応から、地域にでて住民相談までしているのに、非常勤というのは納得できない」



自治労連・愛知社保協などがとりくむ「愛知自治体キャラバン」が、10月26日、29日行われました。



**勝利で基地の即時撤去を
沖縄知事選カンパを!**

**イ八候補勝利で
米軍普天間基地の即時無条件撤去を**

沖縄基地問題は、全国に在日米軍基地を抱える国民全体の問題、「日本のいのち」を守るたたかいです。沖縄県民との共同のたたかいを！カンパを!

など、切実な思いが出されました。この日参加した岡田副議長は「非正規職員が、自ら声を上げなければ、処遇改善はなかなかすすまないことを、まわりの非正規職員に広げましょう」と呼びかけられました。

幸田町職労では、11人が参加。「勤務体制の変更があった時、希望をだしても年度末ギリギリまで回答がない」「嘱託職員がクラス担任している。精神的にも肉体的にも負担が大きい」など思いが語られました。

竹原副議長は「現場の声を交渉の場であげて処遇改善していこう」と訴えました。

介護・福祉・医療など社会保障の充実求め

自治体キャラバン

自治体キャラバンは、「国保料の滞納世帯が09年で18%と高いが、国保料が高いのが原因のひとつ。徴収ありきではなく、減免制度の活用を働きかけるべき」と参加者が発言。

市は「減免は広報などで周知し、窓口で納付の仕方を相談している」としており、住民に目を向けない実態が明らかになりました。

扶桑町では、歯科医師から「短期保険証の人が、途中で治療を断念している。減免制度を活用するよう、

納付相談で対応してほしい」と要望。町は「納付相談が先行してしまう場合もあるが、税務課と住民課が連携していきたい」と回答しました。

犬山市では、任意予防接種の助成について、予防効果に期待できることから前向きに検討していくと回答。参加者から「子どもの医療費無料と、予防接種の助成をぜひ実現してほしい」と申し入れ懇談を終わりました。

愛知県政・名古屋市政を学び・交流

県本部青年部大会



10月23日から24日にかけて県本部青年部大会が開催され、のべ60名が参加しました。

名古屋市の山口きよあきさんを講師に「名古屋港から見る愛知県政、名古屋市政」と題し、藤前干鴻を守った住民との共同、イタリヤ村破綻で明るみになった大企業奉仕の港湾行政、港で活躍する中小企業や労働組合など、様々な切り口から課題と展望が語られました。

24日は名古屋市教育館で大会を行い、単組の多様な活動を交流することができました。

単組定期大会 役員紹介

- 蒲郡社福労(10月19日)
- 執行委員長 岡田 隆二
 - 副委員長 廣濱 紀子
 - 書記長 小笠原 夜子
 - 書記次長 鈴木 康仁
 - 知立市職労(10月28日)
 - 執行委員長 杉浦 彰治
 - 書記長 杉浦 和成
 - 会計 久永美由紀
- 新役員
- 部長 加藤有香(名古屋)
 - 副部長 高村幸弘(名古屋)
 - 書記長 加藤敬之(豊川)
 - 書記次長 原田直己(名古屋)
 - 倉市職
 - 樹(豊橋市職労)